

|      |        |     |        |             |       |         |
|------|--------|-----|--------|-------------|-------|---------|
| 整理番号 | 2025M- | 070 | 補助事業者名 | 社会福祉法人函館共愛会 | 事業項目名 | 特殊浴槽の整備 |
|------|--------|-----|--------|-------------|-------|---------|

## 別紙 JKA補助事業 2025年度 事前計画／自己評価書(4/5)

### 5. 補助事業の自己評価

#### (a) 個別項目評価

|     |      |   |   |   |    |   |     |       |
|-----|------|---|---|---|----|---|-----|-------|
| 作成日 | 2026 | 年 | 1 | 月 | 13 | 日 | 作成者 | 畠澤 正樹 |
|-----|------|---|---|---|----|---|-----|-------|

●個別の評価項目について、事前計画／自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。

|                        |   |                  |   |    |  |
|------------------------|---|------------------|---|----|--|
| (1) 受益者<br>(ニーズ)       | <b>2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)</b>  |                  |   | 探点 |  |
|                        |   |                  |   |    |  |
| (2) 事業内容               | 20年以上使用している特殊浴槽を最新の特殊浴槽へ更新した。新しい特殊浴槽は基本性能はもとより、安全面、衛生面、操作性に優れ、ストレッチャーの軽量化や電動昇降機能により、職員の負担軽減と安全性向上が実現した。 |                  |   |    |  |
| 事業の新規性または継続の必要性        | <b>2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)</b>  |                  |   |    |  |
| 事業の発展性                 | <b>2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)</b>  |                  |   |    |  |
| 実施計画・体制                | 導入日にメーカーの取扱説明を完了し、当日参加できなかった職員にはアイパッドで撮影した動画で大林介護係長と藤谷主任相談員で取扱説明を行った。                                   |                  |   |    |  |
| (3) 達成目標               | [達成値]   | [達成状況]           | [具体的な内容]  | 探点 |  |
|                        | 2025年11月19日   | 100.0%           | 当初の予定通り、11月の導入となった。   | 4  |  |
| 事業の成果・波及               | [達成値]   | [達成状況]           | [具体的な内容]  | 探点 |  |
|                        | 1か月の利用回数  | 118%             | 11月20日から12月20日まで、ひとりの入所者が週2回の入浴で9回利用 27名×9回で延べ243名が利用した。                | 5  |  |
| (4) 情報発信               | [達成値]   | [達成状況]           | [具体的な内容]  | 探点 |  |
|                        | 1、機器へシールの貼付、正面玄関へパネルを固定 2、施設HP、広報誌に掲載   | 1、100%<br>2、100% | 1、浴槽・ストレッチャー・担架にシール貼付、正面玄関にパネル固定した。<br>2、施設HPに掲載中、広報誌に掲載、家族、南茅部地区全域に配布。 | 4  |  |
| 競輪・オートレース補助金による事業であること | [達成値]   | [達成状況]           | [具体的な内容]  | 探点 |  |
|                        | 1、機器へシールの貼付、正面玄関へパネルを固定 2、施設HP、広報誌に掲載   | 1、100%<br>2、100% | 1、浴槽・ストレッチャー・担架にシール貼付、正面玄関にパネル固定した。<br>2、施設HPに掲載中、広報誌に掲載、家族、南茅部地区全域に配布。 | 4  |  |
| (5) 自己評価の体制            | 予定通り主だった職員が集まり、自己評価を行った。評価結果については当法人のHPに1月公開予定。   |                  |   |    |  |
|                        |   |                  |   | 4  |  |

#### (b) 総合評価

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。

|       |   |
|-------|---|
| 総合評価点 | 4 |
|-------|---|

|   |  |
|---|--|
| (1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・感想 | 安全面ではストレッチャーと浴槽を接続する事で隙間がない事と、停電時の安全性能も搭載。操作性ではストレッチャーにウォータースルー機能搭載で更にステップ台も広い。衛生面は、浴槽・外装はFRP製で清掃しやすく、ステンレス部材を使用し錆びにくい。急速給湯・自動給湯停止で浴槽からお湯が溢れ出るのを防ぐことで節水になり、経費削減につながる。  |
| (2) 優れている点・課題、改善すべき点                              | ボディショナーがストレッチャーについている事で円背の方でも安全な姿勢保持ができる。スライドマットがストレッチャーについていることで、側臥位にする時も安全にできる。電動昇降ストレッチャーでベッドからの移乗も安全になり、職員の腰痛予防にもつながっている。また、スライド式リフト、自動昇降機能により、入所者の移乗が安全。浴槽に入る時もストレッチャーが安全に設置しているか音でも確認できる。サイドフェンスが今までと違い開閉が1カ所から2カ所に変更となっていることから、早期に使いこなせるよう慣れが必要である。 |
| (3) その他、アピールしたい点・是非知つてもらいたい点                      | 当該特殊浴槽の導入により、これまで以上に安全で衛生的な入浴が可能となりました。さらに、職員にとっても使いやすい多様な機能を備えており、負担軽減にも大きく寄与おり、今後は入所者の皆さんと職員が「ともに笑顔で」心からリラックスできる入浴時間を提供できるよう、努めてまいります。   |

|      |        |     |        |             |       |         |
|------|--------|-----|--------|-------------|-------|---------|
| 整理番号 | 2025M- | 070 | 補助事業者名 | 社会福祉法人函館共愛会 | 事業項目名 | 特殊浴槽の整備 |
|------|--------|-----|--------|-------------|-------|---------|

## 別紙 JKA補助事業 2025年度 事前計画／自己評価書(5/5)

### (c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

● 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)～(15)の「促進」または「阻害」欄に「\*」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)～(15)を付して、具体的にご記入ください。

● 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「\*」を記してください。

| 事業の促進・阻害要因の自己分析 |    |    |                                   |                     |                        |  |
|-----------------|----|----|-----------------------------------|---------------------|------------------------|--|
|                 | 促進 | 阻害 | 要因分類                              | a. 促進または阻害要因の具体的な内容 | b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。 |  |
| 内部要因            |    |    | (1) 経費                            |                     |                        |  |
|                 |    |    | (2) 実施体制<br>(人員、関係機関<br>の協力等の確保)  |                     |                        |  |
|                 |    |    | (3) 資材調達<br>(事業実施に必要<br>な物資等の確保)  |                     |                        |  |
|                 |    |    | (4) 実施期間<br>(事業終了までに<br>要する期間)    |                     |                        |  |
|                 |    |    | (5) 事業運営のノウ<br>ハウ（進捗管理、<br>資金管理等） |                     |                        |  |
|                 |    |    | (6) 設計仕様の<br>変更（主に建築）             |                     |                        |  |
|                 |    |    | (7) その他                           |                     |                        |  |
| 外部要因            |    |    | (8) 受益者の<br>規模・ニーズ                |                     |                        |  |
|                 |    |    | (9) 実施体制以外<br>の団体等の協<br>力・支援      |                     |                        |  |
|                 |    |    | (10) 関連法制度<br>の変更                 |                     |                        |  |
|                 |    |    | (11) 利害関係者<br>(受益者以外)の<br>要望への対応  |                     |                        |  |
|                 |    |    | (12) 災害の発生<br>(地震、洪水等)            |                     |                        |  |
|                 |    |    | (13) 同様の技術<br>開発                  |                     |                        |  |
|                 |    |    | (14) 競合するサー<br>ビス・事業の出現           |                     |                        |  |
|                 | *  |    | (15) その他                          |                     |                        |  |
|                 | *  |    | (16) 特になし                         |                     |                        |  |